



Hewlett Packard
Enterprise

HPE Cloud Optimizer

ソフトウェアバージョン: 3.00
Linuxオペレーティングシステム

リリースノート

ドキュメントリリース日: 2016年1月
ソフトウェアリリース日: 2016年1月

ご注意

保証

Hewlett-Packard Development Company, L.P.製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載で追加保証を意図するものは一切ありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPEはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPEからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 2015 Hewlett Packard Enterprise Development LP

商標について

Adobe®はAdobe Systems Incorporatedの商標です。

Microsoft®およびWindows®は、米国におけるマイクロソフト企業グループの登録商標です。

UNIX®はThe Open Groupの登録商標です。

謝辞

本製品には、Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>) (英語サイト) により開発されたソフトウェアが含まれています。

本製品には、OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>) (英語サイト) で使用する、OpenSSL Projectにより開発されたソフトウェアが含まれています。

本製品には、Eric Young (eay@cryptsoft.com) が作成した暗号化ソフトウェアが含まれています。

本製品には、Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com) が作成したソフトウェアが含まれています。

本製品には、Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>) (英語サイト) により開発されたソフトウェアが含まれています。

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。

<https://softwaresupport.hp.com/ja/>

このサイトを利用するには、HP Passportへの登録とサインインが必要です。HP Passport IDの登録は、次のWebサイトから行うことができます。 <https://hpp12.passport.hp.com/hppcf/createuser.do>

または、HPソフトウェアサポートページ上部にある [HPパスポートに登録] リンクをクリックします。

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細については、HPの営業担当にお問い合わせください。

サポート

HPソフトウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。 <https://softwaresupport.hp.com/ja/>

このサイトでは、HPのお客様窓口のほか、HPソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HPソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様の業務の管理に必要な対話型の技術支援ツールに素早く効率的にアクセスいただけます。HPソフトウェアサポートのWebサイトでは、次のようなことができます。

- 関心のある技術情報の検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport IDを登録するには、以下のWebサイトにアクセスしてください。

<https://hpp12.passport.hp.com/hppcf/createuser.do>

アクセスレベルの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。

<https://softwaresupport.hp.com/web/softwaresupport/access-levels>

HP Software Solutions Nowは、HPSWのソリューションと統合に関するポータルWebサイトです。このサイトでは、お客様のビジネスニーズを満たすHP製品ソリューションを検索したり、HP製品間の統合に関する詳細なリストやITILプロセスのリストを閲覧することができます。このWebサイトのURLは、<http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp> です。

目次

HPE Cloud Optimizer リリースノート	5
このリリースの最新情報	6
サポートマトリックス	7
インストールの注記	8
既知の問題および回避策	9
制限事項	13
ドキュメントの更新情報	13
ローカリゼーションサポート	14
オープンソースとサードパーティのコンポーネント	14
ドキュメントに関するフィードバックの送信	15

HPE Cloud Optimizerリリースノート

Linuxオペレーティングシステム用

ソフトウェアバージョン: 3.00

発行日: 2016年1月

HPE Cloud Optimizerは、仮想化環境の要素のパフォーマンス傾向を分析するWebベースの分析視覚化ツールです。このツールは、環境の概要、ほぼリアルタイムのデータ分析、履歴データ分析を提供し、インタラクティブなダッシュボードの使用による優先順位付けを行うことで、仮想化環境の監視を可能にします。また、クラウドおよびハイパーバイザー環境での監視も可能にします。HPE Cloud Optimizerによって、要素のパフォーマンスデータが相互のコンテキストにおいて可視化され、迅速にボトルネックを分析できるようになります。HPE Cloud Optimizerはパフォーマンス監視、グラフ生成、レポート機能を単一のインターフェイスで提供します。

HPE Cloud Optimizerの主な機能の一部を次に示します。

- ワークベンチでトリージ分析を行い、数日間、数週間、および1か月間のサーバー使用状況の傾向を調べる機能を提供します。
- 仮想化環境におけるさまざまなリソースの容量、使用率、および割り当て傾向を分析します。
- 過去のリソース使用率を基に適正サイズに関する推奨事項を提示し、未使用リソースを再利用します。
- ビジネスイニシアチブの影響を予測します。
- 環境にリソースを追加したり環境からリソースを削除したりすることによる影響を判断して、ハードウェア要件を事前に計画します。

注: HPE Cloud Optimizerは、VMware vCenter Serverのバージョン5.0、5.1、5.5、6.0をサポートしています。

このドキュメントはHPE Cloud Optimizerが提供する機能の概要を示します。マニュアルまたはオンラインヘルプには含まれていない重要な情報が含まれています。このドキュメントには、次の情報が記載されています。

- [「このリリースの最新情報」](#)
- [「サポートマトリックス」](#)
- [「インストールの注記」](#)
- [「既知の問題および回避策」](#)
- [「制限事項」](#)
- [「ドキュメントの更新情報」](#)

- 「ローカリゼーションサポート」
- 「オープンソースとサードパーティのコンポーネント」

このリリースの最新情報

- **HP Virtualization Performance Viewer (HP vPV) はHPE Cloud Optimizerへ**
仮想化パフォーマンスとヘルスの監視ツールであるHP vPVは、仮想化コンポーネントとクラウドITコンポーネントの両方に対応した、包括的なパフォーマンスおよびキャパシティ管理ツールへと生まれ変わりました。
- **HPE Helionの監視のサポート**
HPE Cloud Optimizerは、HPE Helion OpenStack 2.0をサポートします。HPE Cloud Optimizerを使用して、HPE Helion環境の容量の計画とパフォーマンス監視を実施できます。
- **クラウドのユーザーエクスペリエンスの向上**
HPE Cloud Optimizerでは、ユーザーインターフェイスとビジネスメトリック分析機能がさらに使いやすくなり、クラウドのユーザーエクスペリエンスが向上しました。
- **HPE IT Business Analyticsとの統合**
HPE Cloud Optimizerはリソース使用率やリソース割り当ての情報を提供して、HPE IT Business Analyticsとの統合をサポートします。
- **ストレージ再利用機能の強化**
HPE Cloud Optimizerには、ストレージ再利用機能を強化する次の機能が備わっています。
 - 孤立した仮想ディスクの特定
 - デバイス待機時間が長く、使用済みスペースが多くなっているデータストアの特定
 - 複数のスナップショットを含むVMの特定
 - 古いVMスナップショットの特定
- **容量分析の強化**
HPE Cloud Optimizerの容量分析機能には、次の新機能が追加されました。
 - パフォーマンスが低いホストとデータストアの組み合わせの容量分析からの除外
 - 強化された配置機能
配置提案の際に低パフォーマンスのデータストアは考慮されません。
 - VMの追加および削除による影響を迅速に反映する、強化された予測論理
- **認証機能の向上**

HPE Cloud Optimizerでは次の機能がサポートされるようになり、認証機能がより強化されました。

- HPE Cloud OptimizerのHPE Cloud Serviceへのシングルサインオン (SSO) 機能
- Automation (CSA) 管理
- Active Directory Lightweight Directory Service (AD LDS) のサポート
- ユーザーインターフェイスベースのLDAP 設定
- **その他の機能強化**
 - ハイブリッドビジネスグループの作成機能
ハイパーバイザー、VM、およびデータストアのビジネスグループを作成することに加えて、サーバーのビジネスグループを作成できます。サーバーには、物理サーバーおよびVMが含まれます。
 - SHR 9.40をサポートする、強化されたSHRコンテンツパック
 - 設定可能なメモリサイジング機能

サポートマトリックス

本製品のソフトウェア要件およびハードウェア要件をすべて一覧表示しているサポートマトリックスを参照できます。サポートマトリックスはリリースごとに更新される可能性があるため、HPE サポートWebサイトでのみ確認できます ([HPE サポートマトリックス](#))。

注: 一部を除き、サポートのご利用には、HPE Passportユーザーとしてご登録の上、ログインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。サポートアクセスレベルに関する詳細は、[アクセスレベル](#) (英語サイト) にアクセスしてください。

HPE Passport IDを登録するには、以下のWebサイトにアクセスしてください。[HPE Passportの登録](#) にアクセスしてください。

サポートマトリックスには次の情報が表示されます。

- **要件**
 - ハードウェア
 - オペレーティングシステム
 - データベース

- アプリケーションサーバー
- Webブラウザおよびプラグイン
- 互換性
 - 言語
 - 国際化のばらつき
 - 仮想化製品
 - 高可用性製品
 - HPEソフトウェアの統合
 - HPEソフトウェアの共存
 - パフォーマンスおよびサイジング

インストールの注記

HPE Cloud Optimizerのインストール要件およびインストール手順については、PDF (.pdf) 形式の『HPE Cloud Optimizer インストールガイド』を参照してください。このインストールガイドは製品インストールメディアの\paperdocs\vPV\InstallGuide.pdfで入手できます。HPE Cloud Optimizer Virtual ApplianceまたはLinuxベースのインストーラーから製品をインストールできます。

仮想アプライアンス

HPE Cloud Optimizerの仮想アプライアンスバージョン用のOVAファイルは、GNUプライバシーガード (GPG) を使用して署名が付けられています。GPG署名を使用して、ダウンロードしたバイナリがHPE由来のもので、改ざんされていないかを検証できます。署名を検証するには、「Verification using GPG」セクション (URL:

<https://h20392.www2.hp.com/portal/swdepot/displayProductInfo.do?productNumber=HP LinuxCodeSigning>) (英語サイト) の説明にある手順に従います。

仮想アプライアンスにログインするためのユーザー名はroot、パスワードはvperf*viewerです。

注:

- 英語キーボードのレイアウトとは異なり、アスタリスク (*) キーの場所はローカライズされたキーボードで異なる場合があります。パスワードを入力するときにこの点を確認してください。
- HPE Cloud Optimizerがインストールされているシステムにファイアウォールが存在する場合、ポート8081が開いていてHPE Cloud Optimizerがブラウザからアクセスできるこ

とを確認します。HTTPSモードでアクセスするには、ポート8444を開く必要があります。ポート設定の詳細については、『HPE Cloud Optimizer オンラインヘルプ』を参照してください。

HPE Cloud Optimizerのインストールの詳細については、『HPE Cloud Optimizer インストールガイド』を参照してください。

HPE Cloud Optimizerのインストール後、次のURLを指定してユーザーインターフェイスを起動します。<http://<サーバー名>:8081/PV> または <https://<サーバー名>:8444/PV>

既知の問題および回避策

既知の問題および回避策

問題	データストアのパフォーマンスメトリクスをクエリするときに返される値が32ビットより大きいと、VMware vCenterサービスは失敗する。
回避策	vCenterバージョン5.0を使用する場合は、この問題の修正が含まれている5.0のUpdate 1を適用できます。詳細については、『VMware vCenter Serverリリースノート』(VMware vCenter Server Release Notes) (https://www.vmware.com/support/vsphere5/doc/vsp_vc50_u1_rel_notes.html#clientissues) を参照してください。
問題	VMがネットワークファイルシステム (NFS) データストア上に存在し、分散仮想スイッチ (DVS) ポートグループに属している場合、データは収集されません。したがって、HPE Cloud Optimizerコンソールでは、ツリーマップのデータは利用できません。
回避策	なし
問題	HPE Operations Manager (HPOM) の統合パッケージのインストールがHPOM for Unixで失敗し、次のエラーが表示される。 <pre>"/etc/opt/OV/share/conf/OpC/mgmt_sv/integration/cfgupld/post/cvp_upload.sh: [[: not found"</pre>
回避策	次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none">1. rootユーザーとしてノードにログオンします。2. 次の場所に移動します。 <pre>/etc/opt/OV/share/conf/OpC/mgmt_sv/integration/cfgupld/post/</pre>

	<p>または</p> <p>/etc/opt/OV/share/conf/OpC/mgmt_sv/integration/cfgdwn/post/</p> <p>3. cvp_upload.shまたはcvp_download.shファイルを開きます。#!/bin/shを#!/usr/xpg4/bin/shで置き換えます。</p> <p>4. ファイルを保存して閉じます。</p>
--	--

問題	<p>次のメトリクスが、Windows 2008 R2 SP1のHyper-Vホスト、VM、またはデータストアで収集されない。</p> <p>ホストクラス</p> <ul style="list-style-type: none"> • CPUReadyTime • CPUPhysReadyUtil <p>ゲストクラス</p> <ul style="list-style-type: none"> • SystemOSName • MemoryDemand • CPUReadyTime • CPUUserModeUtil • CPUSysModeUtil • IPAddress <p>データストアクラス</p> <ul style="list-style-type: none"> • DiskSnapShotUsed • DiskVMDKUSed • DiskProvisioned • DiskOthersUsed <p>収集されないこれらのメトリクスは、ワークベンチで使用できません。Hyper-V (配置と最適化) および予測でも、これらのメトリクスのデータは表示されません。</p>
回避策	なし

問題	HPE Cloud Optimizerサーバーロケールが別のロケールに変更された場合、アラートメッセージがローカライズされない。
回避策	<p>指定したロケールでアラートメッセージを表示するには、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. rootユーザーとしてHPE Cloud Optimizerサーバーにログオンします。 2. 次のコマンドを実行します。

	<pre>ovc -kill</pre> <pre>ovc -start</pre>
問題	vCenterに障害が発生し、15分から20分後に開始された場合、HPE Cloud OptimizerによってそのvCenterのパフォーマンスデータが収集されない。
回避策	<p>vCenterに障害が発生し、15分から20分後に開始された場合、パフォーマンスデータは収集されません。HPE Cloud OptimizerによってvCenterの設定データのみがレポートされます。vCenterが稼働中の場合、HPE Cloud Optimizerによって接続が自動的に再確立され、パフォーマンスデータが収集されます。環境設定とその応答性によって、収集には時間がかかる場合があります。</p> <p>パフォーマンスデータの収集をすぐに再開する場合は、次のコマンドを実行します。</p> <pre>ovc -restart pvcd</pre>
問題	Hyper-Vドメイン内のホストによる収集がデフォルトの間隔よりも時間がかかった場合、ツリーマップに正しい情報が表示されない。
回避策	<p>ホストがデフォルトの間隔で収集を完了しない場合、収集間隔を長くすることができます。収集間隔を長くするには、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. vPVWinVirtCollector.propertiesファイルを開きます。 2. CollectionIntervalInSeconds=600を更新します。デフォルトでは、値は300秒に設定されています。 3. HP vPV Collector Serviceを再起動します。
問題	VMwareツールがインストールされていない場合、HPE Cloud OptimizerによってMACアドレスが収集されない。このため、HPE Cloud OptimizerがVM上で実行されているHPE ComputeSensorの詳細を登録できない。
回避策	VMware vSphere ClientでVMのVMwareツールを有効にします。詳細については、VMwareのマニュアルを参照してください。
問題	HPE Cloud Optimizerバージョン1.20および2.00の両方がWindowsオペレーティングシステム上のHPE Service Health Reporter (SHR) バージョン9.20と統合されている場合、データ収集に失敗する。
回避策	なし
問題	IPv6アドレスでアクセスしたときに、HPE Cloud Optimizerで一部の機能がサポートされない。

回避策	IPアドレスの代わりにホスト名を使用してHPE Cloud Optimizerにアクセスしてください。
問題	HPE Cloud OptimizerとService Health Reporter (SHR) が同じシステムにインストールされている場合、HPE Cloud Optimizerをアンインストールした後にService Health Reporter (SHR) が機能しなくなる。
回避策	コマンド <code>/opt/OV/bin/ovc -restart ovtomcatB</code> を使用して <code>ovtomcatB</code> を再起動します。
問題	収集デーモンが再起動後に開始されない。 <code>ovc</code> -ステータスには、再起動後に中断状態の <code>pvcd</code> が表示されます。 または Verticaデータベースが再起動後に開始されません。
回避策	HPE Cloud Optimizer仮想アプライアンスが突然シャットダウンされた場合、データベースが開始されないことがあります。このため、再起動時に <code>pvcd</code> が終了します。 マシンを再起動後に <code>pv</code> プロセス (<code>pvcd</code> 、Tomcat、およびVertica) を再開します。HPE Cloud Optimizerコンソールから <code>pv restart</code> コマンドを実行します。
問題	CSA管理者があるユーザーから別のユーザーへVMサブスクリプションを再割り当てすると、以前のCSAユーザーにはHPE Cloud Optimizerへのログオン時にインベントリにVM名が引き続き表示される。 たとえば、CSA管理者がユーザー1からユーザー2へとVMサブスクリプションを再割り当てする場合。ユーザー1には、HPE Cloud Optimizerへのログオン時にインベントリにVM名が引き続き表示される。ただし、ユーザー2もVMサブスクリプションを正しく表示することができる。
回避策	CSA管理者は、 [設定] > [統合] タブの [CSA統合] セクションにある [キャッシュのクリア] ボタン を使用してキャッシュをクリアすることが推奨されます。
問題	物理サーバーコレクターは、KVMハイパーバイザーがホストからアンインストールされても、そのホストをKVMホストとして識別します。
回避策	問題を解決するには、次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 物理サーバーマシンにログオンします。 2. 次の場所に移動します。 <code>/dev/KVM</code> 3. KVMフォルダーのコピーをバックアップします。 4. KVMフォルダーを削除します。

5. HP Compute Sensor Serviceを再起動します。

制限事項

- ターゲットがHPE Cloud Optimizerから削除されると、そのターゲットのデータは連続する3つの収集間隔にわたって引き続き表示されます。その後、そのターゲットのデータは表示されなくなり、インスタンス数が更新されます。
- HPE Cloud Optimizer Collector ServiceはSCVMMIによって監視されているHyper-Vホストのみを収集します。ESXサーバーは収集から除外されます。
- データストアが複数のクラスターにマウントされている場合、HPE Cloud Optimizerでは、そのデータストアは最初のクラスターのみに関連付けられます。したがって、ツリーマップおよびワークベンチでは、最初のクラスターの下にあるデータストアのみの詳細を表示できません。
- 物理サーバーコレクターのインストールはリアルタイムゲストOSドリルダウンが設定されているマシンではサポートされません。
- 統一エンクロージャビューは、ツリーマップから起動すると、VMware以外のサーバーハードウェアの場合に正しく表示されません。この問題を解決するには、統一エンクロージャビューで他のサーバーハードウェアをクリックしてから、ツリーマップで選択したサーバーハードウェアをクリックします。
- HPE Cloud Optimizerは、フランス語、スペイン語、ロシア語、韓国語、およびドイツ語ロケールで部分的にローカライズされています。

ドキュメントの更新情報

このリリースノートの最初のページには、次の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- 発行日は、ドキュメントが更新されるたびに変更されます。

最新の更新のチェック、またはご使用のドキュメントが最新版かどうかを確認するには、次のサイトを参照してください。[HPEソフトウェア製品 マニュアル](#)

ドキュメントを取得するために、次を指定します。

1. **製品名。**
2. **製品バージョンリスト。**
3. **オペレーティングシステム。**
4. **優先する言語。**
5. **ドキュメントのタイトル。**
6. **[検索]**をクリックします。

PDF形式 (*.pdf) でファイルを表示するには、Adobe Readerをインストールしておく必要があります。Adobe Readerをダウンロードするには、[Adobe](#) Webサイトにアクセスしてください。

ローカライゼーションサポート

HPEはHPE Cloud Optimizerのローカライズされたソフトウェアを以下の言語で提供しています。

- 英語
- 中国語 (簡体)
- 日本語
- フランス語
- スペイン語
- ロシア語
- 韓国語
- ドイツ語

HPE Cloud Optimizerのローカライズされたドキュメントの最新版は、[SSOポータル](#)からダウンロードできます。

オープンソースとサードパーティのコンポーネント

HPE Cloud Optimizerのオープンソースコンポーネントのソースコードは、請求することで入手できます。ソースコードを入手するには、HPEサポートにお問い合わせいただくか、hppv.feedback@hpe.com までメールでお問い合わせください。

ドキュメントに関するフィードバックの送信

本ドキュメントについてのご意見、ご感想については、電子メールで[ドキュメント制作チームまでご連絡](#)ください。このシステムで電子メールクライアントが設定されていれば、このリンクをクリックすることで、以下の情報が件名に記入された電子メールウィンドウが開きます。

フィードバック: リリースノート (Cloud Optimizer 3.00)

本文にご意見、ご感想を記入の上、[送信]をクリックしてください。

電子メールクライアントが利用できない場合は、上記の情報をコピーしてWebメールクライアントの新規メッセージに貼り付け、docfeedback@hpe.com宛にお送りください。

お客様のフィードバックをお待ちしております。